

はじまるヨ! 小中一貫教育ニュース

志木市教育委員会
学校教育課
第 9 号
令和5年12月5日発行

志木第二中学校区 小中心れあい合唱発表会 中学校生活を見通して..

志木第二中学校の1年生が、10月30日に行われる校内合唱祭に先立ち、2クラスずつに分かれて、志木第二小学校と志木第四小学校を訪問し、これまでの練習の成果をそれぞれの小学校の6年生に向けて披露しました。

披露する中学1年生にとっては、初めての合唱祭ということで、人前で歌うことに慣れるという意味もあります。また、6年生にとっては、1年前には同じ小学生だった先輩たちの堂々とした混声合唱を聞くことで感動していました。また、中学校入学後の姿を具体的にイメージすることで、進学への不安を軽減し、期待を大きくすることができたようです。この他にも最近では、コロナ禍で実施を中止していた連携イベントがどんどんと復活しています。



中学生の合唱を真剣に聞き入る6年生

小中一貫教育での節目 誰一人取り残さない教育の考え方



小中一貫型小学校・中学校や義務教育学校では、1年生の頃から児童生徒が知り合い、友達となっていきます。小学校から中学校への節目がなくなり、新たな気持ちの切り替えや進学する充実感が無いのではないのか、と心配の声をいただくことがあります。

小中一貫型小学校・中学校または義務教育学校であっても、学習指導要領にしたがった教育カリキュラムを実施します。前期（小学校）課程と後期（中学校）課程の節目を大切にしながら進級を円滑に整えていきます。

まずは目の前の児童生徒一人一人が9年間の義務教育を卒業又は修了し、社会に貢献できる姿をイメージしながら、誰一人取り残すことなく、学力や体力、豊かな心を確実に育むことが重要です。一人一人の成長を大切にしたいうえで、それぞれの学園らしい節目の行事を行う予定です。

また、義務教育学校については、前期課程（6年生）修了、後期課程（7年生）進級の節目だけでなく、例えば、基礎期（1～4年生）、充実期（5～7年生）、発展期（8～9年生）といった新たな節目として、次のステージへの期待といった自覚を育成することを、これまで以上に培うチャンスがあります。また、この節目の学校行事の実施にあたり、前期課程、後期課程双方の子供たちがお互いに交流し、祝うことができるなど、さらに充実した節目の機会となることでしょう。

【お問い合わせ先】志木市教育委員会学校教育課・教育改革グループ

本ニュースや小中一貫教育について、御意見や質問等がございましたら御連絡ください。

小中一貫教育に関するHP <https://www.city.shiki.lg.jp/site/syotyuikkan/>

URLが変わりました。「お気に入り」設定の変更をお願いします。

☎048-456-5367 E-mail g-kyouiku@city.shiki.lg.jp

